

キャッシュドロア駆動サンプル - CashDrawerKicker -

概要:

このコンポーネントを使用し、TSP100に接続しているドロアの駆動の制御を印字動作無しで、行うことができます。

プロパティ:

PrinterQueueName(String)

このプロパティは、(ウィンドウズの“プリンタとFAX”フォルダ中に確立されている) プリンタキュー名と制御しようとしているデバイスの関連付けを行います。

CashDrawerCircuit(CashDrawerCircuit)

このプロパティは、どのキャッシュドロアが OpenDrawer メソッドによりオープンされるかを制御します。 CashDrawerCircuit は以下のように、定義され、公開されます。

```
Public Enum CashDrawerCircuit
    PrimaryCircuit
    SecondaryCircuit
End Enum
```

EnergizingPulseWidth(Integer)

このプロパティは、OpenDrawer メソッドで使用されるキャッシュドロア (外部機器駆動1) への通電時間を定義します。(単位: msec) このプロパティを使うことにより、市場で使用されている様々なタイプのキャッシュドロア (通電時間が短いものでも長いものでも使用可) を接続することができます。設定可能なパラメータの範囲は、10msec から、最大 1270msec です。本プロパティは、外部機器駆動1のみ使用可能です。

DelayPulseWidth(Integer)

このプロパティで、OpenDrawer メソッドで使用されるキャッシュドロア (外部機器駆動1) のディレイ時間を定義します。EnergizingPulseWidth 同様、様々なタイプのキャッシュドロアの使用を可能とします。設定可能なパラメータの範囲は、10msec から 1270msec です。本プロパティは、外部機器駆動1のみ使用可能です。

IsPrimaryCashDrawerSignalling(Boolean)

(リードオンリー) fires Error on failure

このリードオンリーのプロパティは、現在の (リアルタイム) キャッシュドロア (外部機器駆動1) のステータスを返します。明確には、キャッシュドロアがプリンタに電圧レベルを出力していれば、true を返し、出力していなければ、false を返します。通常キャッシュドロアはオープンされたときに電圧を出力しますが、ものによっては、閉まっている時に、出力するように、配線されている場合もあるため、このプロパティでは、電圧が出力されているかどうかを検知するようにしています。実際にご使用のドロアがどのタイプで配線されているか確認されてご使用下さい。

エラーリスト:

1 + (vbObjectError + 512) – PrinterQueueName プロパティで正確に有効な TSP100 と関連付けられていない場合に表示されます。

2 + (vbObjectError + 512) – TSP100 を制御しようとしている間に通信エラーが起こった場合に表示されます。

サブルーチン:

OpenDrawer() fires Error on failure

このサブルーチンは、上記のパラメータで定義されたキャッシュドロアをオープンします。

エラーリスト:

1 + (vbObjectError + 512) – PrinterQueueName プロパティで正確に有効な TSP100 と関連付けられていない場合に表示されます。

2 + (vbObjectError + 512) – TSP100 を制御しようとしている間に通信エラーが起こった場合に表示されます。

WaitForPrimaryCashDrawerSignalLevel(SignalLevel As Boolean,

TimeoutMilliseconds As Long) fires Error on failure

このサブルーチンは、キャッシュドロア（外部機器駆動 1）が定義された信号レベルになるまで、または、定義されたタイムアウト時間になるまで（1 秒 = 1x1000msec）キャッシュドロアのステータスをポーリングします。

エラーリスト:

1 + (vbObjectError + 512) – PrinterQueueName プロパティで正確に有効な TSP100 と関連付けられていない場合に表示されます。

2 + (vbObjectError + 512) – TSP100 を制御しようとしている間に通信エラーが起こった場合に表示されます。

3 + (vbObjectError + 512) – キャッシュドロアが定義された信号レベルに達する前にタイムアウトになった場合に表示されます。